

令和2年 5月 16日  
国土交通省九州地方整備局  
緑川ダム管理所

## 【速報】5月16日の大雨における 緑川ダム防災操作の効果について

緑川ダムでは、5月16日に防災操作を行いました。

ダムへ流れてくる水量の一部をダムへ貯めることで、ダム下流へ流す水量を約5割低減しました。

これにより、緑川ダムの貯水位は約4.9メートル上昇し、ダム下流の中甲橋水位観測地点においては、河川の水位を約60センチメートル低下させる効果があったと推測されます。

- ・ 緑川ダムでは、16日11時20分に毎秒551m<sup>3</sup>の流入があり、そのうち毎秒268m<sup>3</sup>を貯留して毎秒283m<sup>3</sup>を流し、下流河川の増水を緩和しました。
- ・ 緑川ダム流域平均総雨量：168mm（15日15時～16日13時）

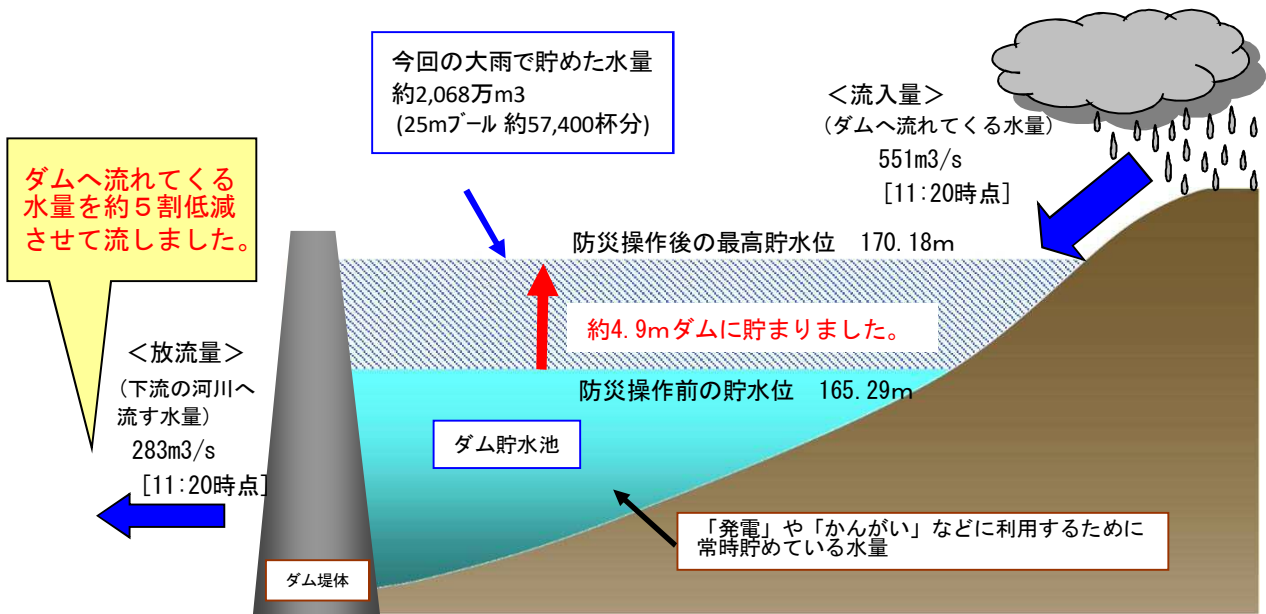
緑川ダム管理所HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/midori/>

問い合わせ先：国土交通省 緑川ダム管理所

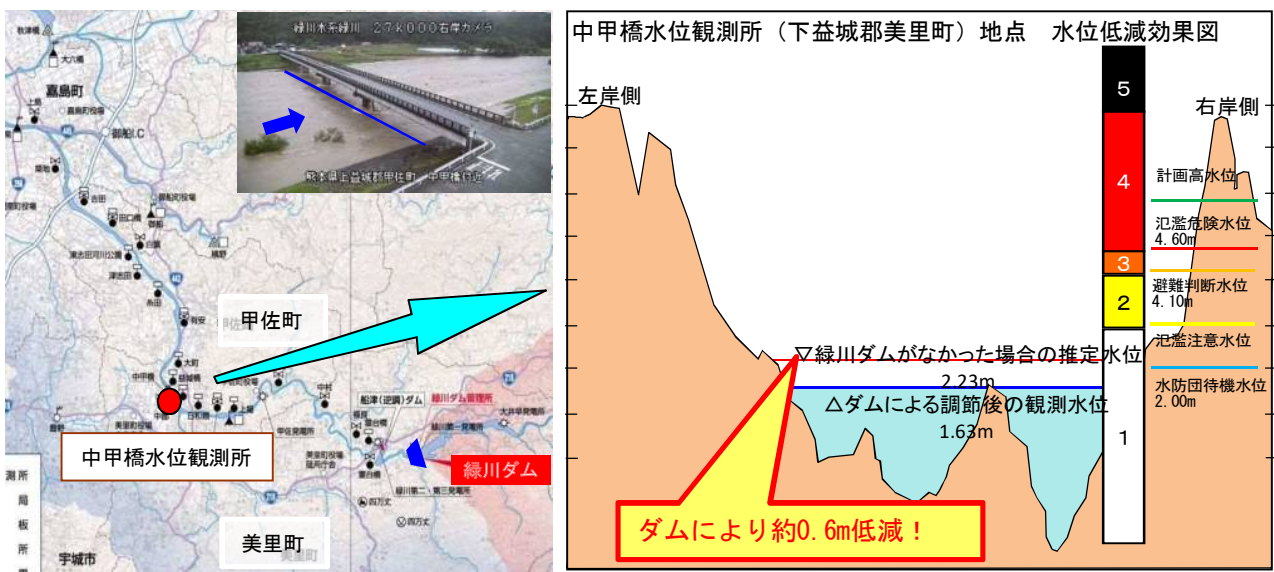
専門官 藤川 保則

電話：0964-48-0216（代） FAX：0964-48-0752

## 【緑川ダムでの防災操作】



## 【緑川ダムにおける水位低減効果(最大)】



※ダムがなかった場合の河川推定水位やその低減量等、本発表における数値は速報値です。最終的に整理される数値とは異なる場合があります。